

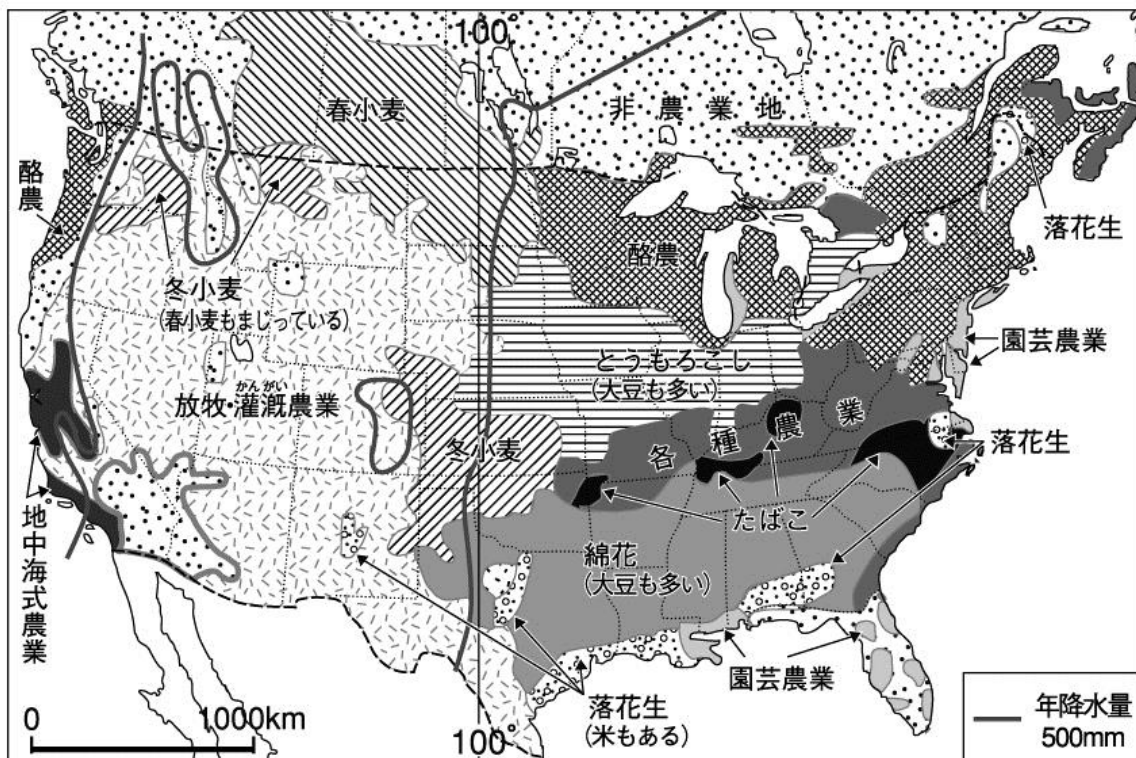
地誌 第31回 「アングロアメリカ地誌(2) ～農業～」

○今回のポイント

世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国

合理的な農業経営

- (1)[①]…地域の自然環境に適応した農業が行われ、多様な農業地域が形成される。
- (2)[②]…大規模化、機械の大型化・高度化、化学肥料や農薬の投入、情報技術の利用など
⇒その結果…[③]が高い(少数の農業従事者によって、多様な農産物が大量に生産される)
- (3)世界の食糧庫…とうもろこし、大豆、小麦、米など大部分は輸出用。世界最大の[④]
- Cf. [⑤]…広大な土地で、飛行機やコンバインなどの大型機械を利用して、小麦やトウモロコシなどの穀物生産を行う農業。土地生産性は低い、高度な機械を活用して生産するため、労働生産性は高い。近年アメリカでは、肥料の大量消費によって、土地生産性も向上しつつある。



世界有数の高層地帯, 中西部

- a. オハイオ州～アイオワ州…[⑥]。とうもろこしや大豆を中心とした飼料作物の輪作と家畜飼育が伝統的に行われる。
- b. コーンベルト以西…雨が比較的少ない。比較的乾燥に強い[⑦]が大規模生産されるようになった。
- c. プレーリー～グレートプレーンズ
- ・ [⑧]方式…世界有数の穀物生産地帯。豊富な地下水による大規模灌漑農業でトウモロコシが栽培される。
 - ・ [⑨]…企業的な飼育場。肉牛が短期間に肥育され、食肉工場処理された冷凍牛肉は海外に輸出される。

【⑩ _____】

【⑪ _____】



多様で合理的な太平洋岸の農業

(1)【⑫ _____】

- ・【⑬ _____】など→地中海性気候。気温が温暖で作物を栽培できる期間が長い。
- ・大規模灌漑授業…【⑭ _____】で水不足に悩むが、灌漑により生産性の高い農業地域が形成される。
- ・【⑮ _____】…肥沃。果樹、野菜などの集約的な農業。

(2)【⑯ _____】の労働力

- ・機械化できない農作業をヒスパニックに依存。低賃金肉体労働を担うカリフォルニア州の農業に不可欠な存在となる。

地理にアクセス

アメリカで活躍するヒスパニック

10年ごとに行われるアメリカの国勢調査によると、ヒスパニックの人口が増え続けています。ヒスパニックは仕事を求めてやってきた人が大半であり、メキシコに隣接するアメリカ南西部、西インド諸島に近いフロリダには、たくさんのヒスパニックが住んでいます。ヒスパニックは自分たちの伝統的な生活・文化を守り、独自の社会を形成しています。

⇒⑩ スペイン語の新聞や雑誌のスタンド（フロリダ州 2003年）



近代的な農業とその問題点

(1)【⑰ _____】（農業関連企業）

農産物の生産から、加工・貯蔵・運搬・販売などの農業関連産業の総称。農業機械などの生産資材や農薬・肥料の供給なども行い、農産物の買い取りなどを通して農民に大きな影響力を持つ。

(2)巨大穀物商社(【⑱ _____】)

穀物の国際流通を支配する多国籍穀物商社。アメリカ合衆国では大商社が穀物輸出の 80%以上を取扱い、政府の農業政策や農産物国際市場に大きな影響力を持つ。

(3)農業のグローバル化による弊害

a.【⑲ _____】の農家の倒産・離農

- ・農産物の輸出国 → 市場を海外に依存 → 国際政治・国際経済の影響大 → 小規模農家の倒産

b.農業の大規模化・企業家の弊害

- ・昔からの土地利用や土壌管理が行われなくなり、【⑳ _____】や農村の荒廃などが問題になる。